

第1回岩石力学・岩盤工学に関する若手研究者会議報告

愛媛大学 安原英明
鳥取大学 奈良禎太
関西大学 小山倫史

1. はじめに

平成26年7月26日(土)、27日(日)に愛媛大学で開催された第1回岩石力学・岩盤工学に関する若手研究者会議についての報告を行う。

2. 開催趣旨

岩石力学・岩盤工学に携わる科学者・技術者(研究者)は、それぞれ土木工学、資源工学、地質学などをバックグラウンドとして活動している。現在、解決すべき課題は複雑・大型化しており、研究者各人が実施できる研究は限界があるため、得意分野が異なる研究者が連携して、求められている課題に対処すべきである。しかしながら現状では、研究者は自らのバックグラウンドに拘泥し、様々な分野の研究者が連携して得られる「価値」を見逃している可能性がある。「岩の力学連合会」は、それら岩石力学・岩盤工学に携わる研究者を橋渡しする学会だが、共同研究の実現や競争的資金の獲得、成果の結実など、研究者同士の連携はまだ十分とは言えず、その実現のためには、さらなる機会が必要と考えられる。特に、若手研究者にとっては、今後生き残りをかけた熾烈な競争環境が待ち受けていることが容易に予測されるため、異分野研究者間の連携は不可避である。そこで、今後の十分な連携が実現することを視野に入れ、異なるフィールドで活動している若手研究者(概ね40歳以下:博士課程学生を含む)をお互いが知ることを第一段階の目的とし、標記の「第1回 岩石力学・岩盤工学に関する若手研究者会議」を開催した。

3. 会議プログラム

【1日目:平成26年7月26日(土)】

- 13:00-13:10 開会挨拶・趣旨説明
- 13:10-14:40 セッションⅠ【試験・計測①】
- 14:40-15:00 休憩
- 15:00-16:30 セッションⅡ【数値解析・物理モデル①】
- 16:30-17:30 講座「競争的資金への取り組み方」

【2日目:平成26年7月27日(日)】

- 09:00-10:30 セッションⅢ【試験・計測②】
- 10:30-10:45 休憩
- 10:45-12:15 セッションⅣ【数値解析・物理モデル②】
- 12:15-12:30 閉会挨拶
- 13:30-14:30 実験室見学

4. 会議報告および今後の予定

会議の参加者は、若手発表者の23名を含めた25名であった。北は北海道から南は九州熊本まで、真夏の松山(愛媛大学)に参集頂いた。発表では、各自が研究テーマを紹介するだけでなく、今後実施したい研究や研究協力できる内容の報告がなされた。一般的な学会発表とは異なり、研究成果のみを紹介する場ではなかったため、参加者も自由な発表を行っていた。クーラーで十分に冷やされた会場であったが、議論は白熱し、外の暑さに負けない熱気であった。また、幌延地圏環境研究所長(北海道大学名誉教授)金子勝比古先生に「競争的資金への取り組み方」について1時間程度ご講演頂いた。講演では、競争的資金の獲得を目指して如何に説得力のある研究提案書を作成するかについて具体的かつ有益な情報を紹介頂いた。ここに記してお礼申し上げる。なお、会議の詳細については、HP(<http://youngrock.miraiserver.com/>)を参照されたい。

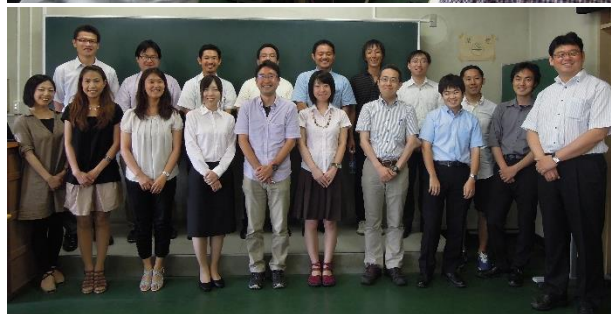


写真 会議の様子(上)・参加者記念撮影(下)

最後に、本会議開催にあたり岩の力学連合会から資金援助を戴いた。未筆ながら御礼申し上げます。戴いた援助金と参加者からの参加費は、主に博士後期課程の学生や30歳前後の若手中の若手の方の旅費として使用させて頂いた。第2回若手研究者会議は来年の同時期に愛媛大学で開催することが確認され、今後はアジアを中心とした若手研究者の国際会議の開催を視野に入れた活動を行うことで合意した。